

# 序 章

## 1. 香川中央地方拠点都市地域の整備の基本理念

東京圏への人口および諸機能の過度な集中が依然として続くなかで、平成2年国勢調査結果における地方圏18道県での人口減少に示されるように、地方においては、魅力のある就業機会や高次都市機能の不足などによる活力の低下が進んでおり、国土の均衡ある発展をめざす第四次全国総合開発計画の多極分散型国土形成方針を具体化するためには、地方の自立的発展を牽引し、国土のなかで个性的な機能を担い、かつ、地方定住の核となる拠点都市地域の形成が大きな課題となっている。

香川県においては、四国の玄関口としての役割を果たしてきたが、昭和63年に瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）が供用され、また、平成元年12月には、高松空港も新たに開港し、本県のゲイトウェイ機能の拡充もはかられ、多面的な交流の活性化を背景として、その役割はますます重要なものとなってきている。

さらに、20世紀末には、明石海峡大橋、尾道・今治ルートの供用により「瀬戸内海三橋時代」が到来する。この「瀬戸内海三橋時代」とは、ますます本州四国間の壁を取り払い、インターブロック交流圏はもとより、より広域的、多面的な交流・連携の時代を迎えることを意味するものであると同時に、地域間で個性を磨き競いあう地域間競争の時代でもあり、これに対応した拠点都市機能の形成が大きな課題となっている。

本計画は、こうした背景のもとで、人口、都市機能などの集積において県勢をリードする位置を占める高松市、坂出市、丸亀市などを中心とする香川中央都市計画区域およびその周辺市町を含めた地域が一体となり、「瀬戸内海三橋時代」を展望しながら、香川県、四国地方はもとより、環瀬戸内海地域の自立的、个性的発展を牽引する中枢となり、地方定住の核となる地方拠点都市地域の整備をはかることを目的として策定するものである。

## 2. 地方拠点都市地域の概要

### 1) 地方拠点都市地域の名称

香川中央地方拠点都市地域。

### 2) 中心都市名

高松市、丸亀市、坂出市。

### 3) 地方拠点都市地域の構成

当地域は、香川県のほぼ中央に位置する高松市を中心とする高松地区、坂出市を中心とする坂出地区、丸亀市を中心とする中讃地区の3つの広域市町村圏から構成される地域であり、高松市、丸亀市、坂出市の3つの中心都市のほか、善通寺市、三木町、牟礼町、庵治町、塩江町、香川町、香南町、直島町、綾上町、綾南町、国分寺町、綾歌町、飯山町、宇多津町、琴南町、満濃町、琴平町、多度津町、仲南町の4市18町、合計22市町から構成される。

平成2年の当地域の面積は1,053.40㎢、人口は73万8,567人であり、それぞれ香川県全体の56.2%、72.2%を占める（別表）。

別表 香川中央地方拠点都市地域の人口、人口増減率、面積

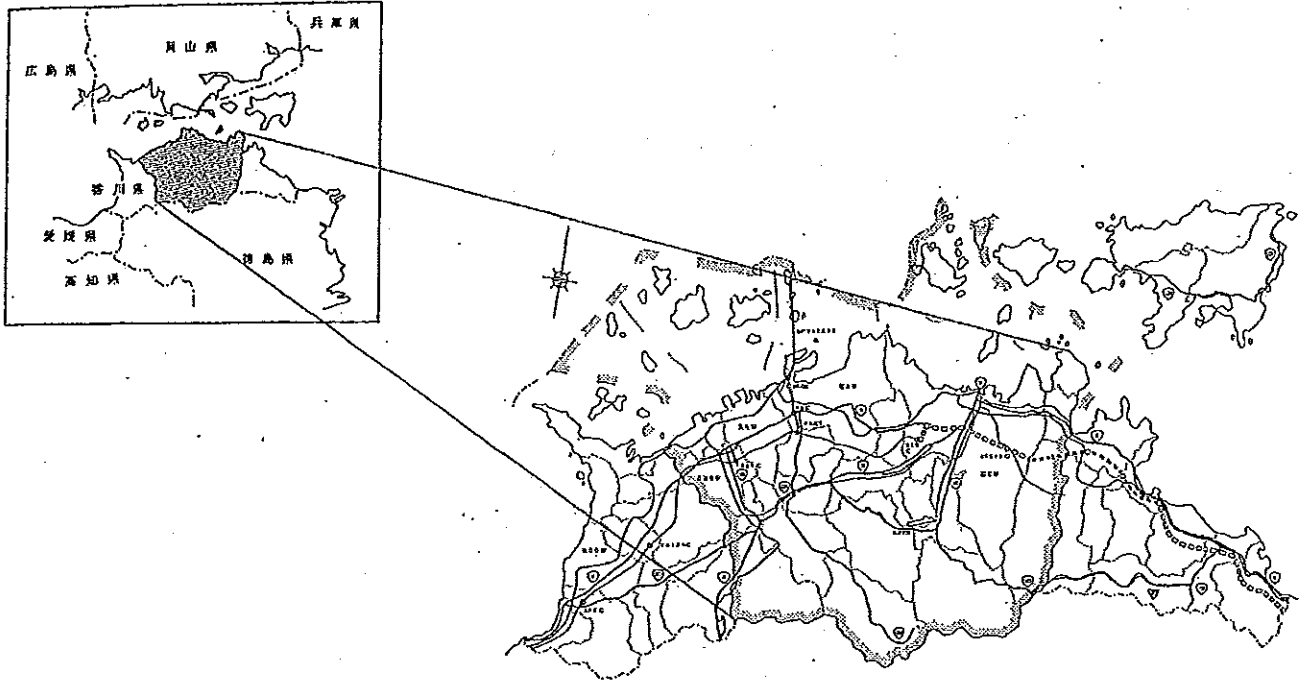
項目 市町名	人 口(人) (平成2年)	人口増減率(%) (平成2年/昭和60年)	面 積(km) (平成2年)
高松市	329,684	0.8	194.03
丸亀市	75,606	1.8	64.56
坂出市	63,876	△ 3.3	92.40
善通寺市	38,423	△ 0.5	39.88
三木町	26,966	3.6	75.78
牟礼町	17,370	0.7	16.45
庵治町	7,583	△ 2.6	15.82
塩江町	3,980	△ 6.1	80.10
香川町	22,649	8.0	27.33
香南町	7,257	3.0	14.72
直島町	4,671	△ 7.2	14.21
綾上町	7,531	△ 4.9	71.44
綾南町	16,978	1.5	38.47
国分寺町	18,330	9.5	26.25
綾歌町	10,575	2.2	27.15
飯山町	15,072	0.4	20.03
宇多津町	12,807	7.9	8.07
琴南町	3,807	△ 6.0	82.72
満濃町	13,521	△ 1.4	53.07
琴平町	12,632	△ 5.2	8.46
多度津町	24,080	0.9	24.32
仲南町	5,169	△ 2.8	58.14
22市町 (4市18町)	738,567	0.7	1,053.40

(資料) 『国勢調査報告』 (総務庁統計局)

#### 4) 基本計画作成主体

高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、三木町、牟礼町、庵治町、塩江町、香川町、香南町、直島町、綾上町、綾南町、国分寺町、綾歌町、飯山町、宇多津町、琴南町、満濃町、琴平町、多度津町、仲南町の4市18町で構成する香川中央拠点都市地域整備推進協議会により基本計画を作成した。

5) 位置图



6) 圏域图

